



APRIL 25.2009

No.99

かんだ

kanda

議会だより **3月** **定例会**

平成21年度予算

総額193億円	2～3
委員会報告	4
議会レポート	9
ズバリ町政を問う（13人が質問） ..	10～23
ぼくのわたしの想う町づくり	24

向山公園

暮らせる町づくり

総額193億円

一般会計134億円+特別会計59億円
前年度比0.9%減

町民1人当り
に使われるお金

552,000円

34,965人

(平成21年3月末日現在の人口)

こども医療費 6,000万円

消防自動車購入(水槽付ポンプ)
4,200万円



平成21年度予算可決

3月3日から23日まで 会期21日間 開催
3月定例会は、平成21年度予算・条例など42件、請願1件、意見書案4件について
審議した結果、議案42件が可決、請願は不採択、意見書案2件が可決された。



誰もが安心して



妊婦健康診査委託（5回を14回まで）
3,559万円

緊急雇用創出事業費
1,339万円

中小企業支援資金利子補給金
2,400万円

重度障害者医療費
1億4,053万円



予算特別委員会報告



予算特別委員長
木原 洋征

苅田町一般会計予算

●議会費

Q 筆耕手数料が前年比80万円増だがその理由は。

A 委員会等の開催日増のため。

●総務費

Q 「広報かんだ」作成委託料の内容は。

A 校正、文章の作成業務に精通した方の指導を仰ぐ。

Q コミュニティバスの運行委託料の増額理由は。

A 白川地区のデマンド方式、幸町、港町のルート変更に伴う増額。

Q 水源開発委託料の内容は。

A 長期的な水の需要を考え、プロジェクトの3つの案の可能性、経費等を精査する。

Q 苅田町手づくりの町づくり事業費補助金の対象団体

数は。

A 20団体から申請があり、補助対象は16団体。

Q ホームページ改修委託料の内容は。

A 差押え物件をインターネット公表するため。



コミュニティーバス

●民生費

Q 総合福祉会館改修工事委託料について。

A 浴場についてはアンケート調査結果に基づいて検討したい。

Q 同和3団体の補助金及び交付金を廃止、減額しないのか。

A 各団体の人権啓発に係る活動を評価しているため。

Q 子育て支援サービス事業補助金の内容は。

A シルバー人材センターによる時間帯の一時預かりの託児事業である。

Q 地域子育て支援拠点事業補助金の内容は。

A 親子の交流の場の提供、相談活動、関連情報の提供、支援に対する講習会等を開催する。

Q 妊婦健康診査委託料の補助率、対象人数は。

A 増加分の2分の1補助、約360人を対象にしている。

Q ごみ収集委託は入札はしないのか。

A 経験があるので6社と随意契約。

●労働費

Q 緊急雇用創出事業について、町独自の計画はないのか。

A 臨時職員を雇用する等。

●農林水産業費

Q 苅田町土地改良区補助金の内容は。

A 主に、かんがい排水事業、圃場整備事業の借入金返済。

Q 鋤崎地区の圃場整備事業の工程は。

A 21年度に事業計画、22年度より予算を計上する。

●商工費

Q 中小企業支援資金利子補給金について、規模等実態は。

A 年利1.6%でその2分の1を補助する。現在117件の申請がある。

●教育費

Q 奨学金貸付金が20年度より減額されているがその理由は。

A 実績にあわせて、滞納対策については、催促状、訪問、連帯保証人にも返還請求している。

Q 就学援助費の不況対策として運用の見直しは。

A 現在の基準を適用し、運用面には、他市町村の実態を考慮して検討する。



苅田駅東口



**苅田町国民健康保険
特別会計予算**

Q 国庫負担の引き下げと、応能割、応益割の比率を変更したことで、低所得者への負担が増え、滞納者が増加している。国保税のさらなる減免をすべきである。

**苅田町老人保健
特別会計予算**

特段の意見質問なし。

**苅田町後期高齢者
医療特別会計予算**

Q 保険料を年金から天引きする制度は廃止すべきだ。町独自の減免は。

A 減免は考えていない。

**苅田町介護保険
特別会計予算**

Q 余剰金を最大限取り崩し、保険料を引き下げるべきだ。認定制度が変更になるので実態を把握し、対処すべきだ。

**苅田町土地区画整理
事業特別会計**

特段の意見質問なし。

**苅田町住宅新築資金
等特別会計予算**

Q 貸付金の督促は厳しくすべきだ。債務者の死亡や行方不明については連帯保証人への請求や法的手段を講じて滞納を解消すべきだ。

**苅田町苅田臨空産業
団地開発事業特別
会計予算**

特段の意見質問なし。

**苅田町下水道事業
会計予算**

特段の意見質問なし。

**苅田町水道事業
会計予算**

Q 通常の知識で、理解できる資料を。

A 今後検討したい。

平成21年度一般会計当初予算比較 (歳出)

(単位：千円)

性質別区分	21年度当初	20年度当初	比較増減額
議会費	164,878	163,001	1,877
総務費	1,859,850	1,812,184	47,666
民生費	3,342,552	3,264,092	78,460
衛生費	1,641,060	1,715,211	△ 74,151
労働費	17,165	3,773	13,392
農林水産業費	346,703	341,106	5,597
商工費	152,908	259,432	△ 106,524
土木費	2,720,014	2,627,143	92,871
消防費	449,422	421,039	28,383
教育費	1,477,251	1,680,769	△ 203,518
災害復旧費	1,137	1,140	△ 3
公債費	1,195,728	1,187,993	7,735
諸支出金	52,654	63,910	△ 11,256
予備費	10,000	10,000	0
予算合計	13,431,322	13,550,793	△ 119,471



総務常任委員会報告



総務常任委員長
坂本東二郎

委員会に付託された議案
10件は、慎重審議の結果、
全議案を可決した。

● 苜田町部設置条例等の一
部を改正する条例の制定
について

○ 上下水道を一元化するメ
リットとは。数値目標があ
るのか。

○ 組織の重複を避け、企業
的事業の一元化で効果が出
る。

○ 数値目標については、部制
度導入後結果を出していき
たい。

○ 下水道整備の体制を早急
に確立し日豊線より山側と
農業集落排水事業の推進を
計るべき、定住化促進の基
盤作りに取り組むべきだ。

● 集会所の設置及び管理運
営に関する条例の一部を

改正する条例の制定につ
いて

● 苜田町駐在員等設置条例
の一部を改正する条例の
制定について

○ 駐在員手当の改定の規定
はあるのか。

○ 規定はない。今後検討し
てみる。

● 苜田町職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一
部を改正する条例の制定
について

● 苜田町職員の育児休業等
に関する条例の一部を改
正する条例の制定につい
て

● 苜田町特別職の職員で非
常勤のもの報酬及び費
用弁償に関する条例の一
部を改正する条例の制定
について

● 福岡県自治振興組合の共

同処理する事務の変更及
び福岡県自治振興組合規
約の変更について

● 平成20年度苜田町一般会
計補正予算（第11号）
● 平成20年度苜田町一般会
計補正予算（第12号）
○ 定額給付金をスピーデー
に交付してもらいたい。

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長
常廣 直行

委員会に付託された議案
11件は、慎重審議の結果、
全議案を可決した。

● 財産の取得について

○ 都市計画緑地横の日産白
石社宅から白石橋へ抜ける
道路は、狭くて通学路でも
あり危険である。土地が取
得できていないと聞くが。

○ 地権者との交渉が進まず、
現在に至っている。

● 新たに生じた土地の確認
について

○ 特段の質疑、意見なし。



井場川埋立

● 町の区域変更について
○ 新たに生じた土地の地名
に「井場川」という旧名は
残せないのか。
○ 区画整理完了地域なので
残せない。

● 専決処分について平成20
年度苜田町一般会計補正
予算（第9号について）
○ 特段の質疑、意見なし。

● 専決処分について
（和解及び損害賠償金の
決定について）
○ この事例で、自己責任を
どのように考える。

○ 自己責任と管理責任の割
合を話し合うことになる。

● 平成20年度苜田町一般会
計補正予算（第11号）
○ 総務費

○ 多額な空港対策費が残っ
た理由は。
○ 用地買収、家屋保障が予
定していたより進まなかっ
た。

● 農林水産業費
○ 栽培している海苔は、特
産品として販売するのか。

○ 今年には生海苔として販売
する。今後は佃煮海苔など



に加工するつもりだ。

● 商工費

Q 農協直売所が移転することによって周辺商店への影響や相乗効果は。

A ピュアタウン苅田や商工会などからも反対意見はなく、相乗効果に期待しているという意見が多い。

● 土木費

Q 苅田駅西停車場線工事が遅れている理由は。

A 鋼材などの入荷が遅れた。

● 平成20年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

特段の質疑、意見なし。

● 平成20年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第2号)

特段の質疑、意見なし。

● 平成20年度苅田町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

Q 繋ぎ込みの計画と実績は。

A 50軒の計画で、39軒の繋ぎ込みが完了した。

● 平成20年度苅田町下水道事業会計補正予算(第2号)

特段の質疑、意見なし

● 苅田町水道事業会計補正

特段の質疑、意見なし。

予算(第1号)

厚生文教常任委員会報告



小山 信美

厚生文教常任委員長

委員会に付託された議案

等は、慎重審議の結果、請願は不採択。議案12件は可決、一般会計補正予算(第11号)が否決。

● 苅田町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

Q 重複障害などの負担が重い。完全無料化はできないのか。

A 最低限の負担はしていたきたい。

● 苅田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について。

Q 剰余金の最終金額は。

事も含まれているのか。

A 経営審査の点数上位20社で指名した。炉の改修は含まれていない。



火 葬 場

られないのか。

A 施設に限度がある。

● 平成20年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

Q 療養給付費負担金の増額の理由は。

A 国の制度改正に伴うものである。

Q 療養給付費交付金の国庫負担は。

A 39%の負担である。

● 平成20年度苅田町老人保健特別会計補正予算(第3号)

● 平成20年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

Q 特別徴収保険料を減額すれば、普通徴収保険料が増額になるのでは。

A 軽減策が平成21年度まで延長される為、普通徴収保険料は減る。

● 平成20年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第3号)

● 平成20年度苅田町一般会計補正予算(第12号)

Q 契約残である。

Q 放課後児童の学年を上げ

● 専決処分について(財産の取得について)

● 専決処分について(平成20年度苅田町一般会計補正予算(第10号))

● 平成20年度苅田町一般会計補正予算(第11号)

● 民生費

● 相談支援事業委託料の減額理由は。

● 放課後児童の学年を上げ



平成21年 第一回苅田町議会臨時会

平成21年1月29日に開催された臨時会2議案は
慎重審議の結果可決された。

議案第1号

工事請負契約の締結についての議決内容
の一部変更について(苅田町立白川小学
校北側校舎改築工事)……………可決

議案第2号

福岡県市町村職員退職手当組合を組織す
る地方公共団体の数の増減及び福岡県市
町村職員退職手当組合規約の変更につい
て……………可決

第二回定例会

意見書

意見書案第1号

「緑の社会」への
構造改革を求める意見書……………可決

意見書案第2号

ミニマムアクセス米の
輸入停止を求める意見書……………否決

意見書案第3号

「治安維持法犠牲者国家賠償法」の
制定を求める意見書……………否決

意見書案第4号

治安対策の強化等に
関する意見書……………可決

可決された意見書は関係機関に送付した。

請願書

請願第1号

妊婦検診14回無料検診実現を
求める請願……………不採択

人事案件

教育委員会委員に

石高 田 瑞
邊 節

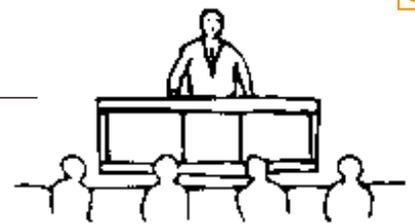
代 雄
氏 氏
の任命について同意

議会傍聴しませんか

3月議会は
168人の
傍聴者が
ありました

6月定例会の予定

6月3日(火)から
一般質問は6月9日(火)・11日(木)・12日(金)
≪開催時間≫ 10時から 受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局
☎093-434-1981





開かれた議会をめざして

議会懇談会は、武内議長のもとに議会改革の一貫として町民の皆様が開かれたそして信頼される議会を目指すために、また主権者である町民の皆様のご要望を集約することにより町民参画の確かなまちづくり

を実行するために開催されています。今までに2回実施されました。

第1回目は、町内で事業をされている苅田商工会議所青年部の皆様から若者の視点から見た様々なまちづくりに対しての提案がなされました。

第2回目は、日頃より地域コミュニティの中心として町の発展の為に活躍されている苅田町区長連合会の皆様から、今の苅田町における問題点と課題そして議会改革に対しての取り組みについての提言がなされました。

これからも議会と町民の皆様が手を取りあつて協働することにより夢のある誇れるまちづくりを実現しています。要望があれば開催するので多くの町民の皆様の参加をお願い致します。

空港対策特別委員会

空港を活かしたまちづくり

本委員会では北九州空港の利用・活用促進について調査研究のために大分空港を視察しました。

大分空港は昭和46年に大分市より国東市に移転し、現在3,000メートルの滑走路を持ち、北九州空港の設計段階において参考にした空港です。

研修では空港がもたらす経済効果、ターミナルビルを活用、空港貨物便、空港へのアクセスについて現状及び今後の課題について意見を交わし、その後、空港内の施設を見学しながら説明を受けました。

今回の研修では、空港を活かしたまちづくりの重要性を再認識するとともに、今後の北九州空港の振興を図るうえで大変参考になり、有意義な視察研修でした。



議員研修会レポート

議会改革をめざして

地方分権一括法が制定され、「対等・協力」を基本とする国と地方の新しい関係が構築され、国・地方を通じて大変厳しい財政状況のなか、個性豊かで活気に満ちた地域社会を実現するため、我々、地方自治体に課せられた責務は、大変大きなものとなりました。また、二元代表制である地方議会に課せられた責任も大変重要なものです。

このような状況のもと、議会としてなすべきことは何か、何をやらなければならないかを議員一人ひとりが、真剣に考え行動するため、本年2月、専修大学・流通経済大学講師、日本経営協会専務講師の加藤幸雄先生をお迎えして、「地方議会の改革」について、議員全員による研修を行いました。



梶原 弘子 議員 11

1. 教育問題
2. 高齢者を肺炎から守ろう
3. 水道行政について
4. 同和問題
5. 厳しい経済情勢にさらされた人達への配慮は

三原 茂 議員 12

1. これからのまちづくりについて

山口 純治 議員 13

1. 好機到来、苅田町が先進地域に

沖永 義樹 議員 14

1. 与原区画整理事業の進捗状況、御所山古墳の進捗状況
2. 雨窪地区の新設道路について
3. 定住化対策の一環として優遇制度について
4. ゴミの分別収集
5. 安心安全な教育の環境づくり

尾形 均 議員 15

1. 政治姿勢について
2. 経済危機下における財政運営及び町づくりについて

榎谷 忠明 議員 16

1. 観光振興計画について
2. 町内業者優遇施策を
3. 霊柩車について

松蔭日出美 議員 17

1. 合併 50 年経過し、白川地域はどう変わったか
2. 思いやりの政治とは

常廣 直行 議員 18

1. 平成 21 年度当初予算編成の方針と特徴
2. 防災危機管理体制の整備

友田 敬而 議員 19

1. 観光振興計画について
2. 政府緊急経済対策定額給付金について

木原 洋征 議員 20

1. “教育の町づくり”の取り組みについて
2. いのちと暮らしを守る町づくりについて
3. 国民健康保険について
4. 介護保険について

白石 学 議員 21

1. 行政組織の改革について
2. 下水道事業について
3. 町長の基本的考えについて

小山 信美 議員 22

1. 子どもの安全・安心の確保
2. 婦人健診の必要性
3. 教育環境整備を

富安 正直 議員 23

1. 教育力向上、基礎学力向上に向けた取り組みを問う
2. 町職員の評価等の人事制度について
3. 町民プール建設の見直しを
4. 町組織の機構改革



一般質問は、
13名が質問

一問一答



※掲載は登壇順



日本共産党
梶原 弘子 議員

Q 教師の健康は大丈夫なのか

A 過重労働対策実施要綱を作成

Q 文科省は、平成18年の調査をもとに教師の勤務実態を40年ぶりに公表した。残業が一ヶ月45時間を越える過労死危険ライン。本町の教師の実態は。

A 教師の残業時間は1日当たり、小学校は1.5時間から2時間、中学校は部活の関係などで平均2時間、成績処理や授業準備も入っている。町では疲労の蓄積、健康

上の不安がある教員のため過重労働対策実施要綱を作成している。医師の面接指導、残業を減らし、教員が良い健康状態を確保できる体制づくりをする。その一環として、町費負担職員を採用している。

Q 部活動の指導で早朝から夜遅くまで、また、休日の試合に忙しい先生の対処は。
A 先生自身の生活と、子ども達の夢実現というバランスを大事にしてほしい。

Q 学校から過労死を無くそう、多忙のツケは教師家族に回らないよう、指導を外部にお願いするような体制はとれないか。
A 現段階では顧問や指導は先生がしている。

就学援助制度の改善を のぞむ

Q この制度の申請には準要保護や民生委員訪問と書かれている。学校対応の改善を求める。

A 今後検討する。

Q 修学旅行費用などをもっと早く知らせてほしい。納入方法も一括ではきつい、以前あった、積立制度はで

きないのか等保護者から意見がでている。
A 旅行費は一括でお願いしている、積立は一校で実施。
Q 特別支援の生徒指導や担任教師への助言等、専門家の雇用を望む。

A 京築地区では地域特別支援連絡協議会を設け、専門家チームが巡回し各学校に指導や助言又研修会等を行い、先生達のレベルアップを図る相談も受けている。



クラブ活動中の中学生



Q

町長の政治姿勢とリーダーシップについて、
2期目に何をやろうとしているのか

A

公正でクリーンな政治を堅持していきたい



無会派
三原 茂 議員

Q 今、12億円という血税を投じて町民プールをつくりたい、また、57万1000円の報酬を出して企業管理者を置きたい、このことは厳しい時代の流れに逆行した政策であり、前伊塚町政の実行してきたことに相反する愚策だと思つが。

A コストがかかるから行政改革に逆行しているということにならない。

企業支援対策は

Q 日産自動車(株)九州工場の月の稼働日数が何日ぐらいなのか。

A 正確な数字は、把握していない。

Q 日産自動車を初め大手企業

が今まで本町にもたらしてくれた税収面でもいろんな恩恵があると思うが企業対策について何か考えているのか。



日産自動車(株)

Q 自動車メーカー等にできる支援として「自動車を買いましょう」というキャンペーンを行っている。

Q 企業を支援し、また、町民の皆様の生活を守るためにも町独自の支援策を検討するべきではないか。

A 検討していない。

Q 岡山県総社市においては三菱の車を購入した市民に10万円の助成金を出している。また、日産自動車のいる栃木県の上三川町においても同様な措置がなされているが、本町においても助成制度を実行してみてもどうか。

A いろんな考え方があつて本町でできることはやっている。

Q 火葬場の建て替え工事、白川小学校の校舎建て替え工事等でなぜ地元に参加させないのか。また、*JV方式の導入はしないのか。

A 中小工事については町内業者に発注している。JV方式については、考えていない。

Q 様々な建築工事の事例を出したが、町内には大手セメント会社が3社あり、地元製品を使うように指導・要請をしたことがあるのか。

A 現在ははない。

Q 国の政策としてカジノをつくるという計画が進んでいる。北九州市でも研究会を立ち上げ検討しているが、カジノ誘致についての基本的な取り組みは。

A 何も考えていない。

※JV方式(ジョイントベンチャー:共同企業体)
JVとは、複数の建設業者が、共同で工事を受注し、施工・完成するためにつくられた共同企業体。公共事業などではずいぶん前からJVによる請負が頻繁に行われています。



安立会
山口 純治 議員

Q

世界がピンチの今こそ、
本町は絶好のチャンスでは

A 町の発展、町民の幸せのため尽力する

人口二万人増への大きな

一歩

Q 世界各国、日本がピンチに陥っている。ピンチをチャンスに変える好機到来ともいえるが、この時代を執行部はどうとらえているのか。

A 多くの企業が操業している本町としては、このような状況が長期化すれば少な

からず影響が出てくると憂慮。法人町民税の減収を想定している。歳出では昨年並みに実施できる予算を編成した。

Q 町民最大の関心事である本町独自の景気浮揚策は。

A 町内立地の中小企業については、融資利用の利子補給。大企業に関しては、国ないし県の制度を活用して

いただきたい。

Q これからは国や県の交付金や補助金をあてにしない

公共事業を推進していかなければならない。地場企業育成が住みたい町づくりの大きな一歩になると考えるが。

A 町独自の予算で取り組む事業もたくさんある。河川改修、橋梁の改修と設計、町道や生活道路整備など、今後も町単費でも事業を出していきたい。

Q 公共下水道の100%整備、幹線道路の電線地中化は。

A 公共下水道だけに頼るのではなく、農業集落排水事業、合併浄化槽もあわせ、一日も早く整備に努める。電線の地中化は、望んでい

る。今は難しい。

Q 学校のグラウンドの芝生化の検討は。

A 小、中学校の温暖化対策として、21年度に試験的に取り組んでいきたい。

Q 世界的な仕事をする人は案外、田園に住んでいるという。最近では日本の一流大学より先進国の大学を目指すという傾向も生まれて

いる。こうした事情に地方自治がどうあるべきかが、本町の人口一万人増加のヒントがあるように思われるが。

A 定住化策などで教育は大きな問題。施設に関しては、町単独ではいかんともしがたいところもあり、国や県とも機会があれば協議していきたい。



芝生化された先進地の運動場

Q 定住化対策の一環として 固定資産税の救済措置は

A 他市町村の状況を調べる



無会派
沖永 義樹 議員

Q 定住化対策の一環として、定住化対策について

A 歴史的遺産をぜひ観光にも活用したい。

Q 御所山古墳に多く出現した埴輪を展示する資料館を作って、観光の目玉にしてはどうか。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 与原区画整理事業の進捗状況は。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 定住化対策の一環として、定住化対策について

A 歴史的遺産をぜひ観光にも活用したい。

Q 御所山古墳に多く出現した埴輪を展示する資料館を作って、観光の目玉にしてはどうか。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 与原区画整理事業の進捗状況は。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 定住促進補助金として、宮城県角田市はマイホームを建築した時に、市が補助金を出している。本町も取り組みを。

A 今、町内進出企業に対し、固定資産税相当額を交付金としている。一般住民にはなかなか難しいが、他市町村の状況を調べる。

Q 定住化対策の一環として、定住化対策について

A 歴史的遺産をぜひ観光にも活用したい。

Q 御所山古墳に多く出現した埴輪を展示する資料館を作って、観光の目玉にしてはどうか。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 与原区画整理事業の進捗状況は。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 定住促進補助金として、宮城県角田市はマイホームを建築した時に、市が補助金を出している。本町も取り組みを。

A 今、町内進出企業に対し、固定資産税相当額を交付金としている。一般住民にはなかなか難しいが、他市町村の状況を調べる。

Q 定住化対策の一環として、定住化対策について

A 歴史的遺産をぜひ観光にも活用したい。

Q 御所山古墳に多く出現した埴輪を展示する資料館を作って、観光の目玉にしてはどうか。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 与原区画整理事業の進捗状況は。

A 基本計画設計委託が終わり、事業計画を作成し、地元推進協議会と4月に地元説明会を行う。都市計画道路路については、21年度に認可を受け実施設計、測量委託等々を行い、買収工事については、22年度からの予定。

Q 定住促進補助金として、宮城県角田市はマイホームを建築した時に、市が補助金を出している。本町も取り組みを。

A 今、町内進出企業に対し、固定資産税相当額を交付金としている。一般住民にはなかなか難しいが、他市町村の状況を調べる。



アパートのごみ置き場

安心安全な教育環境づくり

Q 新津中学校周辺に変質者が多く出没。危険な状態にあり、街灯・防犯灯を設置してはどうか。

A 青パトを走らせ危険防止している。街灯・防犯灯については、再度教育委員会・地元区長と協議し、検討する。

Q 定住化対策の一環として、定住化対策について

A 歴史的遺産をぜひ観光にも活用したい。



無党派
尾形 均 議員

Q 町長の政治姿勢について

A プールは造る。上下水道部を設置

Q 20年3月議会直前、温水プール建設に異議を唱える議員に対し、「予算だけは通して欲しい。さもないと不信任と見なされる。プール予算は執行しない」と。
A その通りだ。
Q 20年3月予算委員会での質問に対し、「プールについては一から議会と話し合う。議会の了解が頂けるまでは予算執行しない」と明言し

ている。更に20年12月議会では「今日の経済状況を勘案して延期せざるを得ない」と言っている。こう言いながら事務作業を進めたのはなぜか。
A 前議会からの経緯等につき説明不足であった。反省している。
Q 執行部の一連の対応は、総て議会に対し約束違反では。
A 予算執行はしない、とい

う約束であったが、新たな説明をした。
Q 昨年の予算委員会、12月議会で何故、作業の状況を報告しなかったのか。経済状況は更に悪化している。信義にもとる行為ではないか。
A 我々の説明不足という不手際だと思っている。
Q 不手際では許されない。12億の建設費、管理費6千万。これに対し実利用者は町外含めて何百人。費用対効果を考えるべきだ。この建設のみで定住化対策に貢献するとは思えないのでは。
A 公民館、体育館も費用がかかる。
Q 担当の厚生文教委員会でも延期を決定しているが。
A 議会の理解が得られるよ

う努力する。
Q 今後は執行部を信用できない。
A 議会の皆様の理解が得られない。見直す。
Q 職員組合も反対している。管理者新設は職権乱用。
機構改革について
Q 上下水道部を新設して新たに管理者を置くようになっていくが。
A 水道局と下水道課を総合する。大型工事、過去の事件への反省等々から行なう。
Q 管理者を新たに置き、毎月57万1千円の給料を支給。これは職員を信頼してない証拠だ。この厳しい時期にこの改革は愚策だ。間違えば料金値上げになる。
A この時期だからやりたいが、理解が得られないので今回は取り下げる事にした。
Q 歴代町長も現体制でやってきた。又、県内でも政令都市をはじめ大都市のみ4ヶ所しかやってない。町村では例がない。



プール建設予定地

Q 御所山古墳を 観光資源に A 整備計画を立てていきたい



未来
栞谷 忠明 議員

- Q** 観光振興計画を問う
- Q** 観光振興計画に石塚山と御所山、二つの前方後円墳及び他の古墳を生かしては。
- A** 観光振興計画の中で、観光資源として取り組む。
- Q** 観光推進組織と交流拠点施設について、四回の委員会で検討し構想案をまとめているのは分かっている。少しずつでも整備は出来な
- A** 御所山については、昨年
- Q** 地域の方も期待している。



御所山古墳

町内業者優遇施策について

- Q** 指名願いを提出している業者で行っている。
- A** 指名願いを提出している業者で行っている。
- Q** 町の公用車は約百台と聞いている。町内業者以外は何社指名に入っているのか。
- A** 全部で6社、町内業者2社。
- Q** 車検の町内外の比率はどうか。
- A** 20年度は20台の車検があり、町内業者11台町外業者9台。
- Q** 点検その他はどうなっているのか。
- A** それぞれの課が公用車を持っているので細かい内容については分からない。
- Q** 町内の業者であれば、小

うなっているのか。

霊柩車について

- Q** 霊柩車は20年以上使用しているが買い替える予定はないのか。
- A** 購入後21年であるが車両本体に異常はなく運行には支障はないと思われる。
- Q** 葬儀へ出ると、町の霊柩車が古いとよく言われる。最後に乗る車でもあり、前向きに考えて頂きたい。
- A** 霊柩車事業をやっているのは県内で9団体であり、斎場の霊柩車使用が7割、町が3割という数値。今後検討したい。
- Q** 価格の話になるが斎場と町では使用料に大きな差がある。買い替えれば町の霊柩車使用の割合も高くなると思われる。
- A** 費用の面も有るが、利用率の面からも考慮して検討したい。



未来
松蔭日出美 議員



白川小学校

Q 思いやりの政治とは

A 心の通った思いやりのある施策を進めることが基本

Q 昭和30年に合併されて、以来白川地域はどう変わったか。

A 農業振興地域として基盤整備、京都トンネル開通、西部公民館の建設、白川小学校の校舎改築、生活道路網の整備、圃場整備、等寛寺地区につきましては整備計画を立て、年次的に行いたい。

Q 基盤の整備は、同和事業で一部行い、残りは全部県

A の仕事だと思いが。県の事業。

Q 京都峠は、私が議員になつてから県に出向き、平成4年以来10年かかってお願いした。要するに、何もできていない。片島から白川校区には5人の議員がいる。定住化対策などを考えていない議員は1人もいない。道路部分についても絶対や

A 調査しながら前向きに努力していきたい。

Q 46区、個々の陳情はどのくらい上がったおるか。

A 相当数の陳情が上がってきている。

Q 区の陳情は、大事な仕事。しっかりとやっていたいただきたい。一番景気対策になるのではないか。

A 急がなければならぬものから対応していきたい。

Q 思いやりの政治とは前教育長が築城の養護学校の高等部を一生懸命取り組んできた。22年の4月に築城養護学校の敷地内にできる。また、前教育委員は障害者。この3月迄任期があるのに、退職願を出させている気持ちは。

A 答えられない。

Q 体育館の入り口から横の駐車場迄、点字誘導ブロックが敷かれてるがこの上を通行止めを置いて通れない。パンジーの中の点字ブロッ

クの上に机を置いたりしての気をつけていただきたい。



京都トンネル



Q 周辺自治体は積極的投資型予算 なぜ本町だけが節約型予算なのか

A 限られた財源で中身の濃い予算とした



ニューフォーラム
常廣 直行 議員

平成21年度

当初予算の特徴

- Q 「積極的投資型予算」とならなかった。その理由は。
- A 減額しようと思った訳ではなく0.9%減は横ばいで、積極的予算だと考える。
- Q 「積極的投資型予算」とは考えにくい。もっと柔軟に組めなかったのか。
- A これでも、かなり無理をした予算編成だと思う。
- Q 減額予算は、この危機を乗り越える地域全体の意気込みにつながらない。緊急経済対策を考慮した予算だという説明が必要だ。
- A 町はPRが大変苦手だ。どういう方法が効果的な広報なのか検討する。

Q 今後の緊急経済対策は、国も公共工事を多年度にわたって前倒し、県も地場の経済を刺激する方向だ。本町の緊急経済対策は。

A 事業規模の大きな実施計画を作っている。今後の補正予算もさらに検討を進め、追加的に実施する。

Q 本町独自の事業とは。緊急経済対策の効果は。

A 町営住宅の提供も、利子補給も独自で決めてやっている。町の緊急経済対策会議の効果は上がっていると思う。

Q 予算編成と政策的課題や総合計画との関連性は。

A まちづくりでは広域幹線道路や生活道路のネットワーク整備、定住化対策は与原本土地区画整理事業、子育て支援の充実、教育改革は少人数学級の町費負担教員配置、青少年国際交流事業の実施などを予定している。

防災、危機管理体制の整備

Q 本庁舎は、診断も耐震工事も未了だ。今後の計画は。

A まだ、決めていない。

Q 本町の防災計画見直しの際の進捗状況は。

A 改定案を作った。今後、防災会議等に諮り進める。

市町村広域災害ネットワーク

ワーク

Q 生活物資や復旧物資の輸送路の確保などインフラ整備の進捗状況は。

A 被害を受けていない市が取りまとめ団体になって、物資の要求等をする。それに基づいて援助していく。

Q 救援物資は、どの道路を通じて、どの避難所に何をどうやって配るのか等、マ

ニユアルが必要だ。

コミュニケーション防災無線の活用方法

Q 「※J-ALERT」は整備されているか。防災無線と合わせて機能検証は常に行われているのか。

A 昨年の11月に整備をした。検証はしていない。

Q 救援、避難等の教育訓練、もしもの時に機能する防災危機管理体制の整備等急務である。

※J-ALERT (ジェイアラート)
全国瞬時警報システム、通称：J-ALERT (ジェイアラート)とは、通信衛星と市町村の同報系防災行政無線を利用し、緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステム。



防災無線



清明会
友田 敬而 議員

Q 定額給付金を利用して 町の活性化を図るべき

A 上手く生かして地域の発展に繋いでいきたい

定額給付金・町内需要を起こせ

Q 定額給付金が近隣市町村と比較して配布が遅いのはなぜか。

A 国の動向が明確でなかった。

Q 県も後押しをしているプレミアム商品券の発行。本町はどのように取り組むのか。

A 前向きに取り組む。現在

商工会議所と鋭意協議中。

Q プレミアム商品券の概略は。

A 公費支援の関係上、全町で使用できる形で発行したい。地域通貨という概念で町内を資金が回るような形を目指したい。

井場川埋立地の活用は

Q 昨年、策定された観光振興計画目的は。

A 交通ネットワークが整備されたが観光に結びついていない。

本町の魅力を整理し、発信していくと共に観光が定着すること。

Q 本年度はどのような取り組みを行ったのか。

A 観光振興計画推進委員会を立ち上げ、観光推進組織と観光交流拠点施設について検討をした。4月に議会に報告する。

主な内容は。

A 観光交流拠点施設構想の中で井場川河口尻埋立地に何を作ればいいのか、そのことが町全体の観光振興にどのように役に立つのか、施設の運営は誰か、そして観光振興の組織をどうする

かです。

Q 現在は観光系コンサルディングに頼んでいるが、今後進めていく上でより専門性を持ったべつのコンサルティングが必要では。

A 必要に応じて考える。

Q 長年、計画は数多くあったがすべてで破算になった。主な原因は運営者がいなかったことにつきる。今まで通りのやり方ではまた、同

じ結果になるのでは。

A 大きな問題と認識している。

Q 成功するためにも、運営者を先に見つけ、運営者の意見も大きく取り入れるべきでは。

A 町が運営主体となることはまず避けたい。町としては運営者に最大限協力を行いたい。



井場川埋立地



Q 片島小の 複式学級の解消を A 町負担教員配置で解消



日本共産党
木原 洋征 議員

Q 複式学級解消は、家賃助成増額で、児童数を増やすことでは。

A 今回は、町独自で複式学級の基準を引き下げ、町費教員を配置し、複式解消を図る。

Q 小・中学校の温暖化対策の進捗状況は。

A 21年度は、小学校で試験的に校舎内とグラウンドを対象に、整備計画を策定。

Q 中学校のゆすり、たかり、いじめのうわさが保護者を不安にさせている。実態を把握しているのか。

A 子どもたちが落ち着かない、また、子どもたちから先生に話もあり、解消に向けて取り組む。現在状況改

Q 複式学級解消は、家賃助成増額で、児童数を増やすことでは。

A 方向性を見出していないが、21年度には一時保育事業の拡大、福祉会館での一時預かりなどの事業を実施する。

Q 重複障害を持つ、重度障害者医療費は完全無料化を。

A 負担軽減のため、町独自施策として、所得制限を撤廃、外来は無料、入院は限度を20日から10日へ半減し、10月より実施。

Q 後期高齢者医療制度は国民の多くが廃止を望んでいる。国や広域連合に発言を。

A 国の制度であり、広域では発言していませんが、いい方向に動いてほしい。

Q 高齢で払えない人に資格

善になっていない。

Q 新1年生の保護者から行かせたくないという声もある。不安を与えないような取り組みをお願いしたい。

いのちと暮らしを守る 町づくりについて

Q 子どもの安心・安全は、児童館の設置が必要では。

証発行は、ぜひ止めてほしい。

A 資格証発行の国の考え方は、払えるのに払えない方を原則にしている。

国民健康保険について

Q 国保税は、国民年金以下の低収入でも、天引きされる、世帯1万円引き下げを。

A 昨年から1億9千万円、今年も2億程度の赤字で引き下げは考えられない。

Q 介護保険について制度改定で要介護認定の行方は。

A 国が実施した新たな認定方法で、軽度に出た場合は、パンジープラン21の新しい高齢者一般福祉サービスの対応を検討したい。



片島小学校



公明党
白石 学 議員

Q 定額給付金について問う

A プレミアム分は支援する

Q 具体的に聞きたい。

A プレミアム部分は、全部町で支援する。プレミアム率は2割ぐらいにしたい。

総額は、少なくとも額を支援する。

A 上下水道関係の集中処理により、大幅なコスト削減が可能になる。

Q 具体的なビジョンを立てているか。

A 年内に見直しをかけ、来年度から合理化を進めたい。

Q 職員とのコンセンサスがとれていないのではないか。

A まだ具体的には話していない。議決された後になる。

下水道事業について問う

Q 与原区画整理地域への下水道整備については。

A 下水道事業の変更認可を行う必要がある。長期的視点に立つて計画を策定したい。

Q 下水道事業の財政面の現状は。

A 19年の決算で9400万の損失を生じている。

Q 財務局の監査の内容は。

A ※使用料回収率が57.6%と悪いので、接続率を上げるよう指摘された。

Q 与原地地区画整理事業について、先行投資になり問題ではないか。

A 人口が増えるまでに回収できない状態を長く存続させるのか、逆に下水道が引

かれないと人が住まないという問題もある。国・県の指導等を仰ぐ。

Q 山口・本谷地区などの合併浄化槽については。

A 当該地域における具体的整備手法については検討したい。

Q 合併浄化槽の維持管理費を町が助成する考えはどうか。

A 個人が維持管理するのが原則だが、助成の仕方について検討したい。

※下水道使用料回収率
処理原価（汚水処理に要した費用）というコストに対して、財源となる使用料がどれくらい収入できているかの割合。
（使用料単価／汚水処理原価）で表されます。高いほど良い。



与原地地区画整理地域

Q 携帯電話の危険性と 子どもの安全は

A 危険性と情報モラルの指導を徹底する



公明党
小山 信美 議員



Q 携帯電話の所持について実態調査は。
A 調査はしていない。昨年1件、携帯の書き込みによるトラブルがあった。
Q 依存性が高いため睡眠不足、学習意欲減退による学力低下が言われているが。

Q 保護者も含めた研修を行う学校や、教育委員会と連携して問題点を押えていく。
Q 携帯を持たせない取り組みについての状況は。
A 文部科学省、県の教育委員会は基本的には持たせないとしている。学校の集会等で徹底し訴えていく。
Q 不審者情報の件数は。
A 平成20年1月末現在27件。
Q 防犯ブザーの使用状況は。
A 把握していない。
Q 品川区では全校の小学生にGPS機能付き、通話可能な防犯ブザー「まもるっ

Q 健康の意義について。
A 自分自身は自分でが原則。理想は全町民だが、そこに至るまで順次できるところからしている。

Q 健康状態の確認、貧血予防を目的とし実施していたが近年、メタボリックシンドロームが重要視され、主に生活習慣病予防へと考えが移行したため廃止した。
Q 費用一人6850円総額約300万円の健診を個人受診にした理由は。
A 本来は自分で守るべきだ。あれもこれもと広げる事は財政に大変負担である。

婦人健診の必要性

Q 健診による早期発見、早期治療が重要では。

Q 古いテレビは何台か。
A 9年を越す分が小学校110台中78台、中学校15台中4台。
Q 必要経費に補助金がつくが試算したことは。
A アンテナ工事に二分の一。テレビ、チューナー購入は地方債で措置。試算はしていない。



早急なデジタル化もたれるテレビ



ニューフォーラム
富安 正直 議員

Q

町民プール計画は 町民の理解が得られるのか

A 議会の議決に従って作業を進める

教育力、基礎学力向上へ
具体的な取り組みを

Q 昨年9月の一般質問において同じ質問をしたが、その後の取り組みは。

A 全国学力学習状況調査の結果分析を教育委員会でを行い、課題を各学校に伝えたい。問題意識を共有するようにした。また外部より指導者を招いて、少人数学級の利点を十分活かしてい

るか等、日々の授業内容の点検もしている。

望ましい職員像とは

Q 職員は本町に住み、PTAや自治会活動など、地域貢献している職員は評価されるべきでは。

A 評価の一面では。
Q 町長の政策である教育の充実、地域コミュニケーションの再生に公私とも尽くす職

員は評価するべきでは。

A そうあるべきだと思うが、そのことで職員を判断するものではない。

Q 人事制度の根幹は町長の政策実現のための人材を確保し、やる気を起こすことではないか。

A 私が判断する事でもあり、そうなるだろう。

町民プール計画の見直しを

Q 総合体育館に隣接する土地での建設は、体育館の耐用年数や駐車場が狭いと指摘されているにもかかわらず駐車場を潰したうえでプールを建設すること、12億円予想される建設費など、多くの問題点が指摘されており見直すべき公共事業ではないか。

A 事業認定のコンサルティング費用や用地購入費、実設計費やプール視察などを行なってきた。

行政として議会の議決の手順を踏んで進めてきた。

Q 1億円を無駄にしても6億円節約できるかもしれない。運営経費も下がるかもしれない。その可能性を全て否定して12億円使うのか。

A 住民の皆さんからあの場所が良いとの声をいただいている。

Q ぜひアンケートをとり再検討をすべき。その際には作務的な質問にならぬよう、相談していただきたい。



ぼくのわたしの想う町づくり



未来は自然のいっぱいな苅田町

馬場小学校6年 上澤 亜美

私は、自然がいっぱいある苅田町にしたいです。今、外で遊ぶ子供が少なくなっているのも木や海、川を増やしてほしいです。木を増やしてほしいです。木を増やせば木のぼりや色々な遊びができるし、きれいな海を増やせば夏には泳ぐ人も増えるだろうし、川を増やせば水遊びや虫を捕まえたりできると思うからです。

それに、このような自然を増やしていけば、家で遊ぶ子供は少なくなって外に出る子供が増えてのびのび育つと思います。そして、子供も大人も笑顔の絶えない苅田町にしてください。これからは、私達が苅田町をつくっていく番です。

未来の苅田町

馬場小学校6年 大津 直人

ぼくが大人になったら、自然がいっぱいのごみ一つもなく、きれいな苅田町になってほしいです。あと、便利に使えるものや、みんなを喜ばせるものを作ってほしいです。

ぼくは、この苅田町でオリンピックや、世界中の人たちが集まる大会をして、世界中に苅田町のことを広めて、苅田町を世界一有名な町にしたいです。

ぼくは、自然も大切にしたいです。例えば川のごみを拾ったり、森の木を増やしたり



してほしいです。だから絶対にごみを捨てたりしないで下さい。

ぼくは、苅田町を大切にしていきたいです。

あとがき

桜の花も散り、春爛漫新緑を向える今日この頃です。3月定例会は21年度苅田町当初予算が主な内容になっています。

昨年、後半百年に一度という大不況の中、本町の本年度予算は前年比0.9%の減額予算。六月には苅田駅前周辺の整備も終る予定です。これから駅を中心とした観光振興計画を推進して行きます。

幸い本町は春に、国指定重要無形民俗文化財千年の歴史を誇る「等覚寺松会」の行事、秋には県指定民俗無形文化財「苅田山笠」、これもまた五百六十年あまりの歴史があります。他にも先人が築いた遺跡など数多く残されており、この文化遺産をこれからの観光の目玉として、苅田町をアピールして行きたいと思えます。

町民の皆様から忌憚のないご意見等を宜しく願います。

山口 純治

議会広報特別委員会

委員長
副委員長
委員

〃 〃 〃 〃

井上 直行
常廣 信美
小原 洋征
木谷 忠明
榎田 敬而
友田 純治
山口 純治